



2026年2月

ニチイキッズたひ東保育園

ほけんだより

気温が低く、乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、

一般に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。

感染症もまだまだ流行りますので、手洗い・うがいをしっかり行い予防に努めましょう。

◆ロタウイルス◆

冬から春先に大流行する感染性胃腸炎で、激しい嘔吐、白くて水っぽい下痢などの症状が出ます。水分を取りたがらない、おしっこの量が少ない、または半日以上出でていない、目の周りがくぼんでいるなどの症状が出た場合は、すぐに医師にかかりましょう。おもちゃの消毒や、おむつ替えの後の手洗いも、感染予防に効果的です。また、予防のためのワクチンもありますが、接種年齢に制限があるので注意してください。



～冬に流行しやすい感染症～

RSウイルス感染症 ノロウイルス

溶連菌感染症 ロタウイルス クループ症候群

おたふくかぜ マイコプラズマ肺炎 など

冬のあせも・とびひ

あせもやとびひとと言えば、夏場のイメージが強いですが、最近は暖房や厚着が原因で、冬場でもなる子どもが多いようです。子どもは代謝がよく、たくさん汗をかくので、服装は大人より一枚少なめが基本です。乳児は特におむつの中がむれやすくなるので、上下のつながったタイプの肌着はなるべく避け、時々背中に触れて、汗をかいていないかどうか確認をしましょう。



冬のかぜについて

冬に流行するかぜには、発熱、鼻水、喉などが主症状の“鼻と喉のかぜ”と、嘔吐や下痢が主症状の“お腹にくるかぜ”（感染性胃腸炎など）があります。冬場、特に注意すべきはインフルエンザです。時に重症化することがあり、急な発熱や悪寒、筋肉痛・関節痛を伴うようなら、インフルエンザの可能性があるので早めに医師にかかりましょう。

自宅では、部屋を保溫・加湿し、脱水症状が出ないよう水分補給には十分注意しましょう。

